17. ^{99m}Tc-MAA の腹腔内注入により交通性陰嚢水腫を証明した腹膜透析患者 (CAPD) の1症例

徳田 修 菅 一能 由水多津子
河村 光俊 副島 京子 折橋 典大
中西 敬 (山口大・放)
吉弘 悟 城嶋 和孝 (同・泌)
宇津見博基 杜下 淳次 山田 典将
(同・放部)

18. 腹腔シンチグラフィ——癌性腹膜炎に対するリザーバー治療の効果予測——

起塚 裕美 吉廻 毅 黒田 覚
吉川 和明 杉村 和朗 石田 哲哉
(島根医大・放)

進行卵巣癌に対し腹腔内抗癌剤リザーバー治療を試みた5例6回を検討対象とした．リザーバー設置後 ^{99m}Tc-MAA 370 MBq (10 mCi) を，500 ml の生理的食塩水とともに 10–20 ml/min で注入後 planar および SPECT 像を撮影した．シンチグラムを拡散型：肝表面を含めた腹腔内全体に拡散，限局型：局所に貯留し腹腔内に拡散しない，の2型に分類した．拡散型は4例，限局型は2例あった．限局型は腫瘍自身ないし治療後の癒着が原因で，それ以上のリザーバー治療の効果が期待できないと考えられた．拡散型は腫瘍への抗癌剤到達が良好で，治療の効果が期待できると予測された．腹腔シンチグラフィはリザーバー治療の効果予測および治療方針決定に有用な検査法である．

19. サルコイドーシスにおける ^{67}Ga シンチ所見について——Panda & Lambda sign を中心に——

由水多津子 副島 京子 折橋 典大
金子 隆文 河村 光俊 菅 一能
中西 敬 (山口大・放)

サルコイドーシスの診断に ^{67}Ga シンチは有用とされているが，今回，肺門縦隔リンパ節，特に右傍気管，両側肺門，気管分岐部への ^{67}Ga 集積所見 (Lambda 像) および涙腺，唾液腺の集積増加所見 (Panda 像) に注目し，サルコイドーシスの ^{67}Ga シンチグラフィ所見について他疾患と比較し検討したので報告する．

両所見を同時に呈する症例はサルコイドーシス以外では認められず，Lambda 像＋Panda 像はサルコイドーシスを積極的に疑う所見と考えられた．

20. neurinoma および neurofibroma の ^{67}Ga シンチグラフィー

折橋 典大 菅 一能 由水多津子
副島 京子 金子 隆文 河村 光俊
中西 敬 (山口大・放)

89年7月より90年6月までの間，当院にて neurinoma ないし neurofibroma と診断された症例の Ga シンチ所見を検討した．内訳は頭頸部4例，胸部1例，四肢1例の計6例で，5例に集積を認めなかった．集積のあった1例は副咽頭腔の neurinoma で，中心壊死が見られ，Ga はこの部が欠けて辺縁に強い集積を示していた．病理学的には炎症性細胞の浸潤は見られず，腫瘍細胞の増殖が比較的盛んな部位に集積したものと思われた．一般に，末梢神経線維腫瘍に対する Ga の集積の有無は，良・悪性を反映するとする報告も多いが，本症例のように，まれに偽陽性例もあり，注意が必要である．

21. ^{99m}Tc-HM-PAO 腫瘍イメージングの経験

河村 光俊 菅 一能 折橋 大典
由水多津子 金子 隆文 副島 京子
中西 敬 (山口大・放)

肺癌例を中心に悪性腫瘍が疑われた臨床例に対して ^{99m}Tc-HM-PAO 腫瘍血流シンチを施行し得たので，他の腫瘍シンチと比較しながら検討を行った．対象の内訳は悪性腫瘍が疑われた10例11病変で，原発性肺癌7例，縦隔腫瘍1例，喉頭癌と原発性肺癌の重複癌1例，気管支肺炎1例である．^{99m}Tc-HM-PAO 約 750 MBq (20.27 mCi) 静注後30分以内に planar 像の撮像を行った．7例については，引き続いて SPECT 画像を撮像した．

SPECT 画像の併用により腫瘍への集積率の改善がみられ，全例で腫瘍部への集積が認められた．しかし無気肺部，炎症巣にも集積がみられ，HM-PAO の集積は腫瘍に特異的なものではないと考えられた．また Tl シンチ早期像と非常に類似した集積分布を示した点は興味深い．

Presented by Medical*Online